

- 問1 宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|---|---|
| 1. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため | 2. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため | 3. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため | 4. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせ出荷を行うため |
|------------------------------------|--|---|---|
- 問2 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|-------|
| 1. まだい | 2. かつお | 3. ほたてがい | 4. さけ |
|--------|--------|----------|-------|
- 問3 九州地方の各県について述べた統計資料において、地熱発電量が「879」と他の県に比べて突出して高く、人口密度が約181.7人/km²である県に該当するものとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 大分県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問4 日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 北海道 | 3. 沖縄県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 九州地方南部に位置する鹿児島県の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. シラス台地などの広大な土地を利用して、豚や肉用牛などの畜産業が盛んに行われており、特に豚の飼育頭数は全国第一位である。また、茶の生産量も非常に多い。 | 2. 温暖な気候とビニールハウスなどの設備を活かした施設園芸農業が盛んで、ピーマンやナスなどの冬野菜の出荷額が全国トップクラスである。 | 3. 広大な砂丘の地形を活かして、スプリングラーを用いた大規模なかんがい施設を整備し、らっきょうやメロンの栽培を主に行っている。 | 4. 平坦な土地と豊かな水源を活かした稲作が中心であり、秋田県や山形県を抑えて米の生産量が全国で最も多い。 |
|---|---|--|---|
- 問6 九州地方の自然環境と地域的特色について述べた文として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 平坦な低地が多く広がっているため、大規模な小麦の単作地帯となっています。 | 2. 九州地方南部には保水力の高い台地が広がるため、稲作を中心に盛んに行われています。 | 3. 火山が多く存在する自然環境を活かして、地熱発電所が多く建設されています。 | 4. 急峻な河川が多い地形を活かして、全国で最も水力発電の割合が高くなっています。 |
|---|---|---|---|
- 問7 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。 | 2. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。 | 3. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。 | 4. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。 |
|--|---|---|--|
- 問8 熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--|
| 1. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。 | 2. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。 | 3. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。 | 4. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--|
- 問9 九州地方の北西に位置し、朝鮮半島との最短距離にあることから、歴史的に大陸との外交や貿易の中継地となってきた島があります。鎌倉時代に元軍が日本へ侵攻した際にも、その地理的条件から最初の攻撃対象となったこの島の名称は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 隠岐 | 2. 対馬 | 3. 五島列島 | 4. 佐渡 |
|-------|-------|---------|-------|
- 問10 熊本県に位置する阿蘇山に見られる、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して形成された大きなくぼんだ地形を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|---------|
| 1. 扇状地 | 2. 三角州 | 3. シラス台地 | 4. カルデラ |
|--------|--------|----------|---------|
- 問11 九州地方の気候について、福岡市と宮崎市の降水量の特徴を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 宮崎市は冬の季節風の影響で12月・1月に降水量が最も多くなるが、福岡市は年間を通じて降水量の変化が少なく、常に一定の雨量がある。 | 2. 福岡市は夏に雨が極端に少なくなる瀬戸内の気候の特徴を持つが、宮崎市は黒潮の影響で冬でも降水量が減らず、一年中多雨である。 | 3. 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。 | 4. 宮崎市は福岡市に比べて年間の総降水量が少なく、特に夏から秋にかけては乾燥した晴天の日が続くため、水不足になりやすい特徴がある。 |
|---|---|---|--|
- 問12 九州地方北部に位置する筑紫平野では、夏に米を、冬に麦を栽培するといったように、同じ耕地で一年のうちに二種類の異なる作物を栽培する農業が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 二期作 | 2. 促成栽培 | 3. 二毛作 | 4. 抑制栽培 |
|--------|---------|--------|---------|
- 問13 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。 | 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。 | 3. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。 | 4. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引 価格が高い時期に合わせて出荷を行うため	宮崎県で盛んな促成栽培の最大の目的は、経済的な利益を高めることにあります。多くの地域で栽培が難しい冬から春にかけて、ビニールハウスで温度を管理して出荷することで、供給不足により価格が上がった市場で有利に販売することができます。これに対し、夏の涼しさを利用して出荷を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、長野県などの高冷地で見られます。
問2	答え 1 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ぶぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせで生産することで、高い生産額を維持しています。
問3	答え 1 大分県	大分県は別府温泉や由布院温泉に代表されるように火山活動が活発な地域であり、その熱エネルギーを利用した地熱発電の発電量が国内で最も多いことが特徴です。統計資料に示された高い地熱発電量は、この地理的特性を反映しています。
問4	答え 3 沖縄県	南西諸島に位置する沖縄県では、高温多湿で台風が多いという厳しい気候条件に対応した住居の工夫が受け継がれてきました。石垣には地元のサンゴ礁からなる石灰岩が使われることが多く、周囲に植えられるフクギは防風・防潮の効果が高い樹木として知られています。これらは、積雪対策を重視する北海道や、合掌造りが見られる岐阜県の白川郷などとは対照的な、地域特有の景観を形成しています。
問5	答え 1 シラス台地などの広大な土地を利用して、豚 や肉用牛などの畜産業が盛んに行われており 、特に豚の飼育頭数は全国第一位である。また 、茶の生産量も非常に多い。	鹿児島県には、過去の火山活動によって噴出した火山灰が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水持ちが悪く、大規模な稲作には向かないという課題がありましたが、その広大な面積を活かして豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展しました。現在では、豚の飼育頭数が全国第一位、茶の生産量も静岡県と並び全国トップクラスを誇るなど、独自の農業的特色を持っています。
問6	答え 3 火山が多く存在する自然環境を活かして、地 熱発電所が多く建設されています。	九州地方には多くの火山が存在するため、火山の熱を利用する地熱発電が盛んに行われています。なお、九州地方南部に広がるシラス台地は水はけがよいため、稲作よりもさつまいもや茶の栽培、畜産業が中心となっています。
問7	答え 2 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった 土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向 きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問8	答え 2 カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬 の放牧が行われている。	阿蘇山のカルデラ内やその外輪山には広大な草原が形成されており、古くから畜産（放牧）が盛んに行われてきました。シラス台地は主に鹿児島県から宮崎県にかけて広がる地形で、阿蘇山そのものの特徴とは区別して理解する必要があります。
問9	答え 2 対馬	九州、中国地方、四国の一部を含む周辺海域の中で、朝鮮半島に最も近い位置にあるこの島は、軍事・交通の拠点でした。元寇の際には、元軍が博多湾へと進むルートの途中でこの島や吉岐を制圧し、九州本土への足掛かりにしようとした。
問10	答え 4 カルデラ	阿蘇山は世界最大級の陥没地形を持つことで知られています。大規模な噴火が起こると、地下にあったマグマが地上に大量に放出され、地下に巨大な空洞ができます。その空洞を支えきれなくなった地表が重みで崩れ落ちる（陥没する）ことで、特徴的な鍋型の地形が作られました。
問11	答え 3 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量 のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節 風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm 近くに達するなど非常に多い。	九州北部に位置する福岡市は、梅雨の時期に降水量がまとまる日本海側の気候の特色を持っています。これに対し、九州南部の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮（日本海流）の影響や、夏から秋にかけて吹き込む湿った南東の季節風、さらには台風の進路になりやすいといった地理的要因が重なり、夏から秋にかけて全国的にも非常に多い降水量を記録します。
問12	答え 3 二毛作	筑紫平野では、温暖な気候を活かして、夏に水稻（米）を育てた後の水田で、冬から春にかけて麦などを栽培する「二毛作」が伝統的に行われてきました。一年に同じ作物（主に米）を2回作る「二期作」とは、異なる種類の作物を作るという点で区別されます。
問13	答え 3 火山灰を主成分とするシラス台地が広がって おり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため 、広大な土地を利用できる畜産が行われるよ うになった。	九州南部に広く分布するシラス台地は、過去の巨大噴火による火山灰などが積み重なってできたものです。この地層は水はけが非常に良く、水分を保持する力が弱いため、大量の水を必要とする稲作（水田農業）には向いていませんでした。そのため、古くからサツマイモなどの畑作が行われるとともに、広大な土地を活かした豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。